



2024年度 実施報告書

大村湾ワンダーベイプロジェクト
一般社団法人海と日本プロジェクトinながさき

▼実施概要

2024年度は、5市5町を巻き込んだワンチームの創出、大村湾の魅力発信、海体験機会の創出を軸に、大村湾流域の市町で13の企画を展開。
大村湾は全国5番目の閉鎖性海域かつ、二重閉鎖性海域が故に外海からの影響を受けにくい。そのため、大村湾を囲む5市5町の住民、自治体、企業がワンチームで取り組むことが、豊かで美しい大村湾を守ることにつながる。
そのことを知り、「大村湾ワンダーベイプロジェクト」の趣旨に賛同し、参加し、広く巻き込むことを目的に、多数イベントを実施。

▼開催回数、動員人数、開催地区

イベント回数：53回

動員数：14,123人

開催地区：諫早市、大村市、西海市、佐世保市、長崎市、
川棚町、時津町、長与町、東彼杵町

▼開催期間、スケジュール

2024年5月～2025年3月

5～7月

「海スイムセミナー」、「海遊び伝習塾」などの海体験イベント、環境保全やごみへの意識向上を図る「大村湾ごみゼロ カヌー・SUPツーリング」を開催。

所見

前年悪天候で実施ができなかった、ボートレース大村の競争水面での「海スイムセミナー」を開催。大村湾フェスタでの開催に向けて、ボートレース大村と連携して実施することができた。
次年度以降も大村湾の中心的存在でもあるボートレース大村との連携を強化していきたい。

8～10月

大村湾フェスタinボートレース大村、ながよアクアスロン大会、Wonder Bay Challenge2024 in大村湾、二島アクティビティ、無人島海洋塾、大村湾をSUPでenjoy！など海体験イベントを多数展開。

所見

SUPやカヌー、シュノーケリングなどの海体験イベントを中心に実施。
大村湾に親しんでもらうのと同時に、安全に楽しむための「海難事故へのそなえ」について伝えた。
次年度はライフセーバーも交え、伝えるだけでなく、実際に体験できる機会を増やす。

11～1月

漁業担い手体験や、海藻School第3回目授業、大村湾調査隊2024を実施。25年度申請に向けた24年度の間報告など、夏に実施した催しの整理。

所見

イベント実施は少ない時期となり、24年度事業の整理と、次年度の準備期間となった。
一方で1年を通した海藻Schoolや、調査イベントの実施により、大村湾ワンダーベイプロジェクトとしての露出機会は保つことができた。

2～3月

小学校での海藻Schoolまとめ授業・出前講座や、うみ星列車クルーズツアーなどを展開。学びの提供と、ツアーにより県内外へ大村湾の魅力を広く発信。

所見

小学校での授業及びツアーの開催により、多くの人に大村湾の課題と魅力を伝える機会を創出。
加えて、県内の小学校及び企業と連携を強めることができ、次年度に繋げる重要なステップ期間となった。

① Wonder Bay Challenge2024in大村湾

▼実施概要

SUPを通して大村湾を身近に感じ、
大村湾を守っていくためのアクションに繋げることを目的に、
大村湾を囲む市町8か所でのSUP体験イベントを、タスキリレー形式で実施。

実施日時：2024年8月23日(金)～25日(日)

実施場所：諫早市、長与町、時津町、長崎市、西海市、
川棚町、東彼杵町、大村市

9:20～11:45、12:20～14:45、15:20～17:45

参加人数：158名

〈実施内容〉

- ①清掃活動+ オープニングセレモニー
- ②SUP体験
- ③タスキへのメッセージ記入



▼実施詳細

①清掃活動+ オープニングセレモニー

海洋ごみの8割は街から出たごみであり、
「ポイ捨て」「ムリ捨て」「漏れ出し」が原因であることを伝えた。
各開催場所で約15分ほどの清掃活動を実施。



②SUP体験

近くの島を1周したり、リレーを楽しんだり、
各会場のロケーションにあわせてSUPを体験。
参加者は、大村湾の特徴である穏やかな波を体感し、
海上から望む大村湾の景色を楽しんでいた。



③タスキへのメッセージ記入

「もっと大村湾について知りたい!」「海を守る!」
「きれいな海を未来に!」などのメッセージを、
参加者全員はタスキに記入し、次の市町へタスキをつないだ。



▼成果

- ・各市町の代表として町長や副市長、職員にご登壇いただき、9自治体と連携することができた。
- ・8か所で計158人が参加。
各地の住民・自治体を巻き込むことができた。

②大村湾をSUPでenjoy !

▼実施概要

超閉鎖性海域の特徴＝波が穏やかな大村湾。

SUPを通じて体感し、大村湾の特徴を学習してもらうことを目的に、大村湾内でのSUP体験イベントを3回開催。

実施日時：2024年8月18日(日)、9月8日(日)、9月15日(日)
10:00～13:00

実施場所：大村市黒丸町

参加者：32名

〈実施内容〉

- ①オープニング+SUP体験
- ②海洋問題講義+清掃活動



▼実施詳細

①オープニング+SUP体験

ライフセーバーから正しいライフジャケットの着用方法を学びSUPを体験。

大村湾の穏やかな波を体感し、大村湾の特徴を学んだ。



②海洋問題講義+清掃活動

海洋ごみの実態やアップサイクル等について学んだあと、海辺のごみ拾いを実施。

参加者は少しでもきれいにしようと、必死にごみをかき集めていた。



▼成果

- ・総勢32人が参加し、大村湾の穏やかな波を体感し、大村湾の特徴を学習。
- ・協賛企業2社からも自主的にイベントへの参加があり、企業の巻き込みができた。
- ・参加した小学生が大村湾への興味関心をもち、このイベントをきっかけに、学校での自由研究題材を大村湾をテーマとして行なったという行動変容もみられた。



③大村湾ごみゼロカヌー・SUPツーリング

▼実施概要

大村湾の特徴を肌で感じ、
環境保全やごみに関する意識向上を図ることを目的に、
大村湾の特徴や海洋ごみに関する講座及び
大村湾沿岸をカヌー・SUPでツーリングしながら漂流ごみを拾うイベントを実施。

実施日時：2024年7月7日(日)

9:30～15:30

実施場所：とぎつB&G海洋センター、時津港～崎野自然公園

参加者：49名

〈実施内容〉

- ①大村湾や海洋ごみ問題についての講義
- ②カヌー・SUPツーリング
- ③大村湾産海鮮BBQ及びごみ拾い



▼実施詳細

①大村湾や海洋ごみ問題についての講義

大村湾の特徴(5市5町に囲まれた海、閉鎖性海域など)や
海洋ごみ問題解決に向けて自分にできることなどを
講義で学んだ。



②カヌー・SUPツーリング

カヌーやSUPで、約1時間半大村湾をツーリング。
大村湾の穏やかな波を体験し、大村湾の景色を楽しんだ。



③大村湾産海鮮BBQ及びごみ拾い

大村湾漁協が準備した大村湾産の海鮮でBBQ。
大村湾で多くの海産物が獲れることを学んだ。
BBQ後には着艇地のごみ拾いを実施。



▼成果

- ・総勢32人が参加し、
大村湾の特徴や海洋ごみ問題について学習。
- ・定員に対して倍以上の申込があり、
多くの地域住民の関心を集めた。

④うみ星列車クルーズツアー

▼実施概要

ツアー参加者の発信を通じて、大村湾周辺の人々が大村湾の魅力に気づき、豊かな大村湾を未来へ引き継ぐ意識を持ってもらうことを目的に、楽しみながら、美しく豊かな大村湾を陸から・海から発見するツアーを4回開催。

実施日時：2025年3月20日(木祝)、3月22日(土)、3月23日(日)、3月25日(火)
10:30～18:05

実施場所：大村湾内、大村湾沿岸

参加者：111名

〈実施内容〉

- ①大村湾クルージング、「ふたつ星4047」への乗車
- ③大村湾産海鮮BBQ
- ④大村湾や海の問題について学ぶクイズ大会



▼実施詳細

①大村湾クルージング、「ふたつ星4047」への乗車
クルージングでは海の上から、ふたつ星4047では海の沿岸から、大村湾の美しい景色を体感した。



②大村湾産海鮮BBQ
大村湾漁協が準備した大村湾産の海鮮でBBQ。
大村湾で多くの海産物が獲れることを伝えた。



③大村湾や海の問題について学ぶクイズ大会
13問のクイズを通して、大村湾の特徴や磯焼け問題、海洋ごみ問題について楽しく学んだ。

▼成果

- ・111人がツアーを通して、大村湾の特徴や海の問題について学び、大村湾の魅力に体感した。
- ・「他のイベントにも参加したい」との声もあり、海プロ及びワンダーベイの活動への関心を高めることができた。



⑤大村湾調査隊2024&環境出前講座

▼実施概要

大村湾の特徴と課題を知り、課題の1つである「磯焼け」がどのような環境問題なのかを学び、子どもたち自ら解決策を考えることを目的に、海藻を採取し、海藻がどれだけ海に寄与しているか調査実験するイベントを1回、調査結果をもとに小学校での出前講座を5回実施。

①大村湾調査隊2024

実施日時：2024年12月22日(日)

10:00～13:00

実施場所：大村市 松山町公民館とその周辺

参加者：10名

②環境出前講座

日程・開催校：

2月21日(金) 大村市立三浦小学校、大村市立松原小学校

2月25日(火) 大村市立大村小学校

3月3日(月) 時津町立時津北小学校、東彼杵町立彼杵小学校

参加者：247名



▼実施詳細

①大村湾調査隊

長崎大学水産学部と連携し実施。

子どもたち自ら海藻を採取し、海藻が光合成によりどのくらいの酸素を排出し、海の環境に寄与しているのか実験を通して調査。

また、大村湾でも起きている磯焼けについても学んだ。



②環境出前講座

調査結果を基に、海藻の役割、海で起きている問題や温暖化についての出前講座を実施。

子どもたちは海藻が吸収する二酸化炭素量に驚き、「海藻はとても優秀！」と海藻の役割をしっかりと学んでいるようだった。



▼成果

・257名の子どもたちが海藻の役割や海で起きている問題について学んだ。

・長崎大学及び、大村市、時津町、東彼杵町の学校と連携

⑥海遊び伝習塾

▼実施概要

楽しい体験を通して水辺でのリスクを知り、自分の命は自分で守る自助意識を養うことを目的に、佐世保海上保安部による安全教室及び、マリンアクティビティ体験を2日間実施。

実施日時：2024年7月27日(土)、7月28日(日)
10:00～15:00

実施場所：大村市 馬場先ボートパーク
参加者：274名

〈実施内容〉

- ・安全教室
- ・クルーザー、漁船タイプボートでの大村湾クルージング
- ・大型ヨット、中型ヨットの体験搭乗
- ・水上バイク体験搭乗
- ・シーカヤック、SUP教室
- ・ウォーターホイルフロート体験



▼実施詳細

●安全教室

3点のテーマをもとに事例を佐世保海上保安部から説明し安全に楽しむことを参加者は肝に銘じていた。

1. 天気予報を見て行くこと
2. 大人と一緒に遊びに行くこと
3. ライフジャケットを着用すること



●シーカヤック、SUP等の体験

実際に参加者自らが体験できるアクティビティとして、波が穏やかな大村湾を体験を通じて感じていた。



●ボート、ヨット、水上バイク等の体験搭乗

自ら操縦するにはハードルがあるため、体験搭乗として参加者は搭乗。



▼成果

- ・274人もの参加者に、海の魅力を伝えることができた。
- ・海上保安部より安全指導し、しっかり知識を付けたうえで海体験を楽しんでもらった。

⑦二島アクティビティ

▼実施概要

無人島「二島」での貴重な体験を通して、大村湾に親しみを持ち、大村湾の問題解決に意識を向けて考えてもらうことを目的にシュノーケリング及びSUPのアクティビティ体験イベントを実施。

実施日時：2024年9月7日(土)

シュノーケリング体験：8:30～11:30 SUP体験：13:00～13:10

実施場所：無人島 二島

参加者：26名

〈実施内容〉

- ①シュノーケリング体験
- ②SUP体験
- ③ごみ拾い



▼実施詳細

①シュノーケリング体験

専門家の先生のもと、海の生き物を観察。
普段の大村湾では触れ合うことができない生き物に、参加者は興味津々だった。



②SUP体験

二島を1周し、波の穏やかさを体感。
また、普段の大村湾とは異なる海の透明度に参加者は驚いていた。



③ごみ拾い

閉鎖性海域の特徴から、大村湾のごみは自分たちの街から流れ出たものだとし説明し二島のきれいな海を守るためにごみ拾いを実施。



▼成果

- ・大村湾内では珍しく、海の透明度が高く多くの生き物が生息する二島でアクティビティを体験することで「きれいな海を守りたい」という意識醸成に繋がった。
- ・26名が二島の魅力を感じた。

⑧無人島（田島）海洋塾

▼実施概要

普段はできない無人島での体験や学習を通して、大村湾の特性や課題、海を保護する活動の重要性を学んでもらうことを目的として無人島での宿泊体験イベントを3回実施。

実施日時：2024年7月20日(土)～21日(日)、8月23日(金)～24日(土)、
9月7日(土)～8日(日)
10:00～翌11:00

実施場所：無人島 田島

参加者：126名

〈実施内容〉

- ①磯遊び
- ②大村湾産海鮮BBQ
- ③イカダ作成・イカダ脱出



▼実施詳細

①磯遊び

漁師から大村湾に生息する生き物について説明。「波が穏やかだから、サザエにツノがない」という話に参加者は驚いていた。



②大村湾産海鮮BBQ

食事を通して、大村湾で獲れる海産物の多さと美味しさを学んだ。



③イカダ作成・イカダ脱出

1日目に自分たちでイカダを作成。
そのイカダに乗って大村湾の波の穏やかさを体感した。



▼成果

- ・126人が1泊2日の多様なプログラムを通じて大村湾の特徴や課題を学習した。
- ・漁協や地域住民のボランティアの協力があり多くの人・団体を巻き込むことができた。

⑨大村湾フェスタinボートレース大村

▼実施概要

大村湾を身近に感じ、海の環境問題や海の魅力を知ってもらうことを目的にボートレース大村の競争水面での海体験、海スイムセミナー、海洋ごみパネル展、幼児向け水遊び体験等を実施。

実施日時：2024年8月1日(木)

12:00～22:00

実施場所：ボートレース大村

参加者：12,690名

〈実施内容〉

- ・海遊び体験会(バナナボート、ジェットスキー、SUP等)
- ・海スイムセミナー
- ・海洋ごみパネル展
- ・サンセットライブ



▼実施詳細

①海遊び体験会

バナナボート、ジェットスキー、SUP、カヌー、水上自転車、クルージングの6種のマリンスポーツ体験を競争水面で実施。普段体験できない水面での海洋体験に多くの人が並んだ。



②海スイムセミナー

実際にボートが走るコースでチャレンジレースを開催。参加者はプールとの違いを知り、海の魅力を感じていた。



③海洋ごみパネル展

海洋ごみ問題につちえの啓発パネルを展示。来場者がパネルを見て、海洋ごみ問題の実態に関心を示していた。



▼成果

- ・12,690人が来場し、多くの人に大村湾を身近に感じてもらい、海の魅力を伝えた。
- ・TV3局でのメディア露出ができた。

⑩ 漁業担い手体験

▼ 実施概要

漁業体験を通して、海で起きている課題を自分ごと化することを目的に、座学講座と、漁船で実際に海に出る体験学習を12回実施。

実施日・開催場所：

5月14日 大村市立松原小学校
6月25日 西海市立西海北小学校
6月26日 西海市立西海東小学校
7月3日 大村市立三浦小学校
7月9日 大村市立大村小学校
7月18日 西海市立西彼北小学校
9月6日 佐世保市立針尾小学校
9月13日 あじさい保育園
9月25日 学校法人時津学園時津幼稚園
11月5日 佐世保市立宮小学校
11月22日 西海市立小串小学校、小串学童保育クラブ
参加者：258名

〈実施内容〉

- ① 大村湾の漁業と海の環境についての講座
- ② 稚魚の放流体験

▼ 実施詳細

① 大村湾の漁業と海の環境についての講座

大村湾の水産業や漁師のお仕事、大村湾に生息する生き物、大村湾の海洋ごみ問題など、様々な角度から学習。

② 稚魚の放流体験

漁師と子どもたちが一緒に漁船に乗り込み、稚ナマコや稚魚を放流。
小さい稚ナマコと稚魚が2～3年で大きくなると聞き子ども達は驚きつつ、興味深々に観察していた。

▼ 成果

・258人もの子どもたちが、漁業体験を通して海で起きている問題を学習した。
「ごみを捨てない」「長崎県産の魚を食べて漁業を応援する」などの声があり、大村湾を守る気持ちを醸成。



⑪海藻School2024

▼実施概要

海藻の育成を通して海の特徴を学び、海藻増加へ寄与することを目的に、小学校で海藻の種付けから沖出しの体験学習を実施。磯焼け問題と海の特徴について年間を通して学習する。

開催校・日程：東彼杵町立彼杵小学校 第1回5月9日(木)、第2回5月10日(金)
第3回12月18日(水)、第4回2月14日(金)
時津町立時津北小学校 第1回5月23日(木)、第2回5月24日(金)
第3回12月10日(火)、第4回2月7日(金)

参加者：107名

〈実施内容〉

- ①オリエンテーション、海藻の卵採取
- ②卵の苗付け
- ③海藻の沖だし
- ④まとめの発表



▼実施詳細

①海藻の卵採取

海藻の卵を観察したし、子ども達自ら卵を採取。



②卵の苗付け

採取した卵と海水をジョウロにいれ、苗プレート上に卵を播き、苗付け。その後は教室内で育成。

③海藻の沖だし

育った海藻を子どもたちがロープに固定し、海へ設置。



④まとめの発表

「ごみ拾いをする」「ポスターを作って問題を知ってもらう」「海の大切さをたくさんの人に伝える」など大村湾を守りたいという気持ちを醸成。



▼成果

- ・107名の子どもたちが海へ親しみを持ち、大村湾の問題解決に向けてできることを考えた。
- ・今までにない方法での陸上養殖に成功。

⑫ ながよアクアスロン大会

▼実施概要

豊かで美しい大村湾を体感し、海の魅力や環境を考えるきっかけを作ることを目的に、スイムとランの2つを掛け合わせた競技「アクアスロン」の大会を大村湾沿岸である長与港周辺で開催。

実施日時：2024年8月11日(日)

8:30～11:50

実施場所：長与町 長与港・海洋スポーツ交流館とその周辺

参加者：137名(エントリー152名)

〈実施内容〉

- (A)小学3・4年：スイム100m＋ラン0.9km
- (B)小学5・6年：スイム200m＋ラン1.5km（1周回）
- (C)中学生：スイム400m＋ラン3km（2周回）
- (D)高校生：スイム800m＋ラン5km（3周回）
- (E)一般：スイム800m＋ラン5km（3周回）
- (F)一般ルー：スイム800m＋ラン5km（3周回）



▼実施詳細

上記の競技種目に分けて、アクアスロン大会を実施。大村湾でのスイムと、大村湾沿岸のランで選手からは「海で競う楽しさを学ぶことができた」「きれいな海を保ちたい」「海のイベントにもっと参加したい」などの声が聞かれ、競技を通して海の魅力を感じ、海の環境保全への意識が高まったようだった。



▼成果

- ・137人が競技を通して、豊かで美しい大村湾を体感した。
- ・26社の協賛企業を巻き込み、多数のボランティアが協力するイベントとなった。



⑬海スイムセミナー

▼実施概要

海で泳いだことがない人に海で泳ぐきっかけを作り、安全に泳ぐ練習を通して海の魅力を知り、海に親しみを持ってもらうことを目的に、海での泳ぎ方を学ぶセミナーを8回実施。

開催日・開催場所：

6月2日(日) ボートレース大村

7月7日(日) 大崎海水浴場

7月21日(日) 結の浜マリンパーク

7月28日(日) 結の浜マリンパーク

8月1日(木) ボートレース大村

8月4日(日) 結の浜マリンパーク

8月25日(日) 崎戸海浜公園

10月12日(土) 結の浜マリンパーク

参加者 : 145名



〈実施内容〉

①海での泳ぎ方指導

②ライフセーバー体験



▼実施詳細

①海での泳ぎ方指導

足のつかない場所での「立ち泳ぎ」「スカーリング」、海で泳ぎながら周りを確認する「ヘッドアップ」など海での泳ぎ方を講師から学んだ。

②ライフセーバー体験

ビーチフラッグス体験、やレスキューボート体験など楽しみながらライフセーバーを体験。

また、レスキューチューブの使い方のデモも行い、溺れている人を救助する流れを体験した。



▼成果

- ・145人に海での泳ぎ方、海で泳ぐ前に気を付けることを伝えた。
- ・初めて海で泳ぐ子どもから「大村湾は汚く見えるけど、魚は住みやすい海」などの海の環境を学んだ声もあった。



WEB・SNS運用

公式WEBサイト運用について



■公式WEBサイトでは、イベント情報や、レポート情報など、プロジェクトの活動情報の集約サイトとして運営し、各種レポートや発信、名刺やSNSなどにURLやQRコードを掲載することで、見ていただく機会を創出。

【効果】

■ワンダーベイの活動情報が集約されているので、活動を知らない人に、今までのイベントの様子を伝えるツールとして活用できた。

公式YouTubeチャンネル運用について



■公式YouTubeチャンネルでは、プロジェクトが実施する企画のイメージ動画を制作し掲載。興味を示した人に対し、どんなイベントか、映像を通じて知っていただく機会を創出。

■総動画本数：27本
■チャンネル登録者数：14人
■総再生回数：1,135回

【効果】

■参加したことがない人に、映像でイベントの様子を伝えることができ、参加意欲の向上につながった。

■動画を活用し、次年度以降の参加者増加に繋げるツールとして活用していく予定。

公式SNS（XおよびInstagram）運用について



■Xでは、ワンダーベイの認知拡大を目的に、大村湾についての情報やイベントの様子、イベント告知などを中心に発信した。

■Xフォロワー：218人

■Instagramでは、ワンダーベイの活動に興味を持ち、参加してみたいと思ってもらうコンテンツとして、実施イベントのレポート発信や、イベント告知などを行なった。

■Instagramフォロワー：356人

【効果】

■Xでは、フォロワー数の多いユーザーによるリツイートなどもあり、ワンダーベイの活動を広く拡散することができた。

■Instagramアカウントを見て、活動情報をピックアップしている層も一定数いて、引き続き当プロジェクトへのファンを増やすツールとして活用していく予定。

[illegible]



無人島 海洋塾

開催日

7/20(土)
~7/21(日)

8/23(金)
~8/24(土)

9/7(土)
~9/8(日)



参加者写真



海上安全講習



海上安全講習

大人(参加費込)

4,000円

小学生(参加費込)

3,000円

※参加費は別途お振込みください

申し込み締切日

～7月19日

15:00前までのお申し込み

15:00前までのお申し込み

15:00前までのお申し込み

15:00前までのお申し込み

21:00前までのお申し込み

～8月6日

15:00前までのお申し込み

8月6日(日)開校

8月7日(月)開校

8月8日(火)開校

11:00前までのお申し込み

＜お申し込み＞

申込書・参加費の振込み

～8月10日開校

開校式・開校説明会

開校式・開校説明会

開校式・開校説明会

開校式・開校説明会

～8月10日開校

開校式・開校説明会

開校式・開校説明会

開校式・開校説明会

開校式・開校説明会

＜お申し込み＞

申込書・参加費の振込み

～8月10日開校

開校式・開校説明会

開校式・開校説明会

開校式・開校説明会

開校式・開校説明会

～8月10日開校

開校式・開校説明会

開校式・開校説明会

開校式・開校説明会

開校式・開校説明会



第4回 ながよ アクアスロン大会

2024年8月11日

主催：一般社団法人日本プロフェッショナルなぐさき水泳クラブ

協賛：ナガヨ市、ナガヨ市教育委員会、ナガヨ市スポーツ振興会、ナガヨ市文化振興会、ナガヨ市観光振興会、ナガヨ市産業振興会、ナガヨ市商工振興会、ナガヨ市農林振興会、ナガヨ市健康振興会、ナガヨ市福祉振興会、ナガヨ市環境振興会、ナガヨ市文化振興会、ナガヨ市観光振興会、ナガヨ市産業振興会、ナガヨ市商工振興会、ナガヨ市農林振興会、ナガヨ市健康振興会、ナガヨ市福祉振興会、ナガヨ市環境振興会

https://nagayo-aquathlon.jp

<プロジェクトツール>

ポロシャツ



のぼり



横断幕



ステッカー



<Wonder Bay Challenge2024in大村湾>

Tシャツ



<ごみゼロカヌー・SUPツーリング>

タオル



<二島開拓大作戦>

のぼり



WEBサイト



ステッカー



横断幕



ロゴ



<大村湾フェスタinボートレース大村>

看板



来場者配布



<ながよアクアスロン大会>

事前説明動画



WEBサイト



参加者配布(タオル)



<海スイムセミナー>

参加者配布(スイムキャップ)



参加者配布(サーモボトル)



<うみ星列車クルーズ>

のぼり



Sponsor



フォトパネル



船装飾



各メディア露出（2025年3月31日時点）

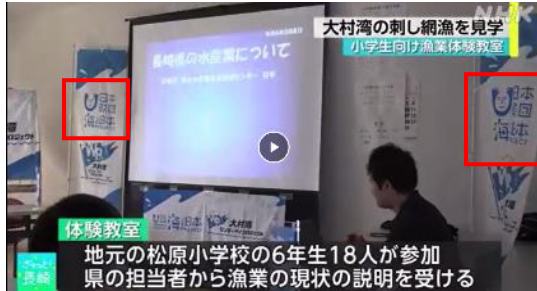
- ◇TV放送回数 計20回
◇新聞掲載回数 計2社7回
◇自治体広報誌掲載回数 計2回
◇WEB掲載、転載 計748回

テレビ露出

エリア	日付	媒体名
長崎	5月14日	NHK長崎「ぎゅと！長崎」担い手体験
長崎	5月17日	長崎文化放送「スーパー」チャンネル」海藻school
長崎	5月20日	おおむらケーブルテレビ担い手体験
長崎	5月22日	テレビ長崎「マルっと！」担い手体験
長崎	7月18日	テレビ長崎「マルっと！」ごみゼロカヌー・SUPツーリング
長崎	7月24日	テレビ長崎「マルっと！」無人島海洋塾
長崎	8月1日	長崎放送「Pint」大村湾フェスタ
長崎	8月2日	長崎文化放送「スーパー」チャンネル」大村湾フェスタ
長崎	8月5日	テレビ長崎「マルっと！」大村湾フェスタ
長崎	8月13日	テレビ長崎「ライブニュースイット」海遊び伝習塾
長崎	8月28日	長崎文化放送「スーパー」チャンネル」Wonder Bay Challenge2024
長崎	9月2日	テレビ長崎「ライブニュースイット」ながよアクスロン大会
長崎	9月12日	テレビ長崎「マルっと！」Wonder Bay Challenge2024
長崎	9月16日	テレビ長崎「マルっと！」二島アクティビティ
長崎	9月27日	テレビ長崎「プチまる」大村湾をSUPでenjoy！
長崎	10月16日	テレビ長崎「ライブニュースイット」担い手体験
長崎	1月20日	テレビ長崎「マルっと！」大村湾調査隊2024
長崎	2月14日	長崎文化放送「スーパー」チャンネル」海藻School
長崎	3月3日	テレビ長崎「ライブニュースイット」出前授業
長崎	3月21日	テレビ長崎「ライブニュースイット」うみ星列車クルーズ

メディア露出 (TV露出)

▼NHK長崎「ぎゅと！長崎」担い手体験



▼長崎文化放送「スーパーJチャンネル」海藻school



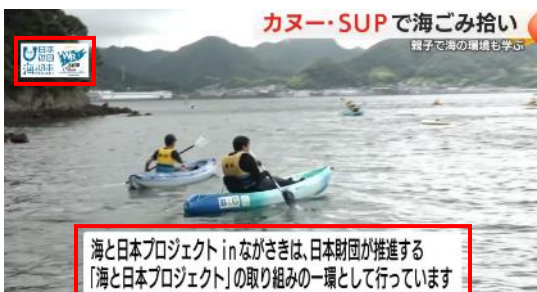
▼おおむらケーブルテレビ担い手体験



▼テレビ長崎「マルッと！」担い手体験



▼テレビ長崎「マルッと！」ごみゼロコーナー・SUP



▼テレビ長崎「マルッと！」無人島海洋塾



▼長崎放送「Pint」大村湾フェスタ



▼長崎文化放送「スーパーJチャンネル」大村湾フェスタ



メディア露出 (TV露出)

▼テレビ長崎「マルッと！」大村湾フェスタ



▼テレビ長崎「ライブニュースイット」海遊び伝習塾



▼長崎文化放送「スーパーチャンネル」Wonder Bay Challenge



▼テレビ長崎「ライブニュースイット」ながはくアスロン大会



▼テレビ長崎「マルッと！」Wonder Bay Challenge2024



▼テレビ長崎「マルッと！」二島アクティビティ



▼テレビ長崎「プちまる」大村湾をSUPでenjoy !



▼テレビ長崎「ライブニュースイット」担い手体験



メディア露出 (TV露出)

▼テレビ長崎「マルッと！」大村湾調査隊2024



▼長崎文化放送「スーパーJチャンネル」海藻School



▼テレビ長崎「ライブニュースイット」出前授業



▼テレビ長崎「ライブニュースイット」うみ星列車クルーズ



[illegible]

▼長崎新聞 アカスロン大会

大村湾舞台に スイムとラン

ながさきアカスロン大会
スイム大会は、大村湾で開かれ、ラン大会は、大村湾を舞台に、大村湾を一周するコースで開かれた。

大村湾を一周するコースで開かれた。ラン大会は、大村湾を舞台に、大村湾を一周するコースで開かれた。

大村湾を一周するコースで開かれた。ラン大会は、大村湾を舞台に、大村湾を一周するコースで開かれた。

▼長崎新聞 担い手体験

ナマコの赤ちゃん 大きく育て

西海市西彼町の市立大串小（藤井達也校長、1人1人のも、5年生生るおに、同町漁協による水産教育が図られ、児童らは大村湾特産のナマコの稚魚1万5千匹を同湾に放流した。海の大ちゃんや古里の漁業について知ってもらうのが目的。同町の漁協で構成する大村湾栽培漁業推進協議会の事業の一環と

ナマコの稚魚を手にする児童—西海市、西彼町漁協

西海・大串小児童 大村湾に放流

6月6日、日本財団の「海と日本プロジェクト」の支援で、大村湾の川原製菓は、ナマコの稚魚が成長していることを確認し、「しっかか船通し」として、児童らに、海と漁業について知ってもらうのが目的。同町の漁協で構成する大村湾栽培漁業推進協議会の事業の一環と

▼長崎新聞 二島アクティビティ

大村湾の二島アクティビティ

大村湾の二島アクティビティは、大村湾を舞台に、大村湾を一周するコースで開かれた。

大村湾を一周するコースで開かれた。ラン大会は、大村湾を舞台に、大村湾を一周するコースで開かれた。

大村湾を一周するコースで開かれた。ラン大会は、大村湾を舞台に、大村湾を一周するコースで開かれた。

▼長崎新聞 大村湾をSUPでenjoy

穏やかな海 SUPですすい

大村・黒丸 環境美化へごみ拾いも

大村湾をSUPで楽しむ。環境美化へごみ拾いも。

大村湾をSUPで楽しむ。環境美化へごみ拾いも。

▼とぎつ広報誌 ごみゼロカーン・SUP

カーン・SUPで大村湾ツーリングをしながらグリーン活動をしました！

7月7日（日曜日）には、大村湾を舞台に、大村湾を一周するコースで開かれた。

大村湾を一周するコースで開かれた。ラン大会は、大村湾を舞台に、大村湾を一周するコースで開かれた。

大村湾を一周するコースで開かれた。ラン大会は、大村湾を舞台に、大村湾を一周するコースで開かれた。

▼とぎつ広報誌 担い手体験

海の大切さを学ぶ

9月24日と25日に、伊勢湾産と大村湾産の魚介類の市場に出る。大村湾産の魚介類は、大村湾を舞台に、大村湾を一周するコースで開かれた。

大村湾を一周するコースで開かれた。ラン大会は、大村湾を舞台に、大村湾を一周するコースで開かれた。

大村湾を一周するコースで開かれた。ラン大会は、大村湾を舞台に、大村湾を一周するコースで開かれた。

事業開始2年目を迎えた2024年度は、プロジェクト認知度も向上し、昨年の課題点でもあった「企業連携」は順調に達成することができた。

イベント回数は昨年度の29回から53回と大幅に増加した中で、各イベントの参加者数も順調に推移し、14,123名の方に大村湾の魅力を知り、環境課題に向き合うきっかけを与えることができた。

メディア露出においても、昨年度はTVと新聞合わせ16回だったが、24年度はTVと新聞合わせ27回と飛躍的に伸びた。

さらに、うみ星列車クルーズでは、7,300円という参加費ながら一時は満員となる応募があり（当日キャンセル等があり最終的には定員割れ）、「お金を出してでも海について知りたい・体験したい」という傾向を生み出すことにも成功したことは、本事業にとっても大きな成果となった。



一方で2024年度の課題と反省点としては、WEBやSNSなどのオンラインコンテンツの展開が数字に結びついていない点と考える。

また、大村湾の環境問題はここ数年でさまざまな問題が浮上しており、より一層「環境課題」にフォーカスした事業展開が必要だと感じている。

25年度はWEB・SNSを通じたファンの増加を見据えた戦略と、地域の団体や企業を巻き込んだ「環境課題」の根本解決に向けた推進をしていきたいと考えている。